

豊南小学校・校長室だより (家庭数配布)

令和3年(2021年)6月15日

発行 中森啓之

“感謝の心”を持ち、そして伝えましょう。

コロナの感染が広がってから、本校では、職員も含めて全員の検温を毎日実施しています。子どもたちには体温チェックの表を配り、ご家庭のご協力をいただきながら、毎朝、体温を測ってもらっています。(お忙しい中、ありがとうございます。)ほとんどの子どもは、おうちで体温を測ってくるのですが、中には「体温を測ってくるのを忘れました。」と職員室に来る子がいます。近くにいる先生が体温を測ってあげるのですが、その後の反応は様々です。きちんとお辞儀をして、「ありがとうございます。」と言って教室に帰る子もいれば、そのまま帰ろうとする子もいます。そんな時は、「何か言うことない？」と聞いてあげます。すると、ハッとした顔になり、「ありがとうございます。」と返ってきます。私たちは、何もお礼を言ってほしいわけではありません。お礼を言えない人になってしまったら、将来、困るだろうと思うから、子どもたちの足を止めるのです。

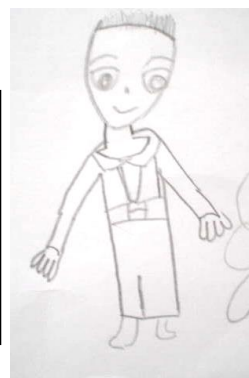
決してこんな人にはなあってほしくないということで、過去の私の経験を紹介します。私が大学生の頃のことです。授業でクラブの後輩に会いました。1人暮らしの後輩が本当にしんどそうな顔をして、「昨日から何も食べてない。」と言ってきました。ポケットにも百数十円しかありません。私は可哀そうに思い、「ちょっとだけ貸してあげるから、昼ご飯でも食べたら。」と千円を渡しました。夕方のクラブの時間、後輩は元気になってやってきました。「昼ご飯食べたか？」と聞くと、「はい、食べました。で、残りで雑誌を買いました。でも、またお金が足りなくなったので、友だちに千円を借りました。」と言ったのです。私は呆気にとられ、「こんな奴に二度と金貸すか！」と思いました。

こんなこともありました。別の後輩と一緒に食事に行った時、一応私が先輩ですので、後輩の分も払ってあげました。食事が終わり店を出た時、後輩は信じられない言葉を発しました。「う～ん、もうひとつやったな～。」と。確かに自分の口に合わないこともあるでしょう。しかし普通は、「ごちそうさまでした。」と言うべきですね。

豊南小学校の子どもたちには、絶対にこの2人ようにはなあってほしくないですね。“やっってもらって当たり前”ではありません。人って、絶対に1人では生きていけません。誰もが、何かしら人から助けってもらって生きているはずです。しかし、助けられていることが悪いわけではありません。感謝の気持ちを持ってほしいのです。そして、その感謝の気持ちをしっかり言葉に変えて相手に伝えることができる、そのような子どもたちに育ててほしいと願っています。

◇クイズ

右の絵は2年生が描きました。だれを描いたのでしょうか？(答えは裏をご覧ください。)



答え

私（中森）です。

2年生が、学校案内で1年生に校長室の紹介をする時に描いていました。
とても可愛く描いてくれてますね。ありがとう！